

平成三十一年度 入学試験問題（二次）

国語

（時間 五十分）

〔注意事項〕

- 一 試験開始の合図まで開けてはいけません。
- 二 受験番号・氏名を解答用紙に記入しなさい。
- 三 試験問題は五題あります。印刷がはつきりしなかったり、問題がぬけていたりした場合は申し出なさい。
- 四 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 五 解答用紙だけを提出しなさい。

— 次の——線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- 1 鶴岡八幡宮つるがおかはちまんぐうの神事かみごとである流鏑馬やぶさめを見た。
- 2 さまざまな作法さくしゆが各地で派生はっせいした。
- 3 的てきを射る都度たび大きな拍手はくしゆが送られた。
- 4 放たれた矢は俵はつをも貫くつらぬと言われている。
- 5 馬は暴れるはげことなく落ち着おちいている。

— 次の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- 1 天皇てんかうへイカが退位たいゐされる。
- 2 次のゲンゴウげんごうが決定する。
- 3 さまざまなスイロンすいろんが飛び交かう。
- 4 発表はつぷつにイタるまで検討けんこうを繰り返す。
- 5 筒つつの中からマいた紙を取り出す。

三 略

四 略

五

次の1～5の意味を表すことばを漢字二字で表し、その☆印にあてはまる漢字一字を答えなさい。

1



意識や考えがある対象に向かうこと。

「平和国家の建設を——する」「本物——」

2



いちどに見渡す。見渡すかぎり。

「ビルの屋上から市街を——する」

「町を——のうちに収める」

3



写本や印刷物をもとの本や原稿とひき合わせて

その誤りを正すこと。

「何回となく——の赤字を入れる」

「——刷りされた原稿が手元に届く」

4



二人以上の者の意見が一致すること。

「——に達する」「協議の上で——した」

5



不正・怠慢・ごまかし・失策などを全く許さない
きびしいさま。

「——に審査する」「彼は——な父親だ」

(『大辞林 第三版』)

『新明解国語辞典 第七版』

『明鏡国語辞典 第二版』による)